

メキシコ債券ファンド (資産成長型) 【愛称：ラ・バンバ】

追加型投信／海外／債券

日経新聞掲載名：メキシコ債成

2019年2月27日から2020年2月26日まで

第7期 決算日：2020年2月26日



受益者の皆さまへ

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてメキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

当期の状況

基準価額 (期末)	9,786円
純資産総額 (期末)	860百万円
騰落率 (当期)	+13.7%
分配金合計 (当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
(旧:三井住友アセットマネジメント)
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

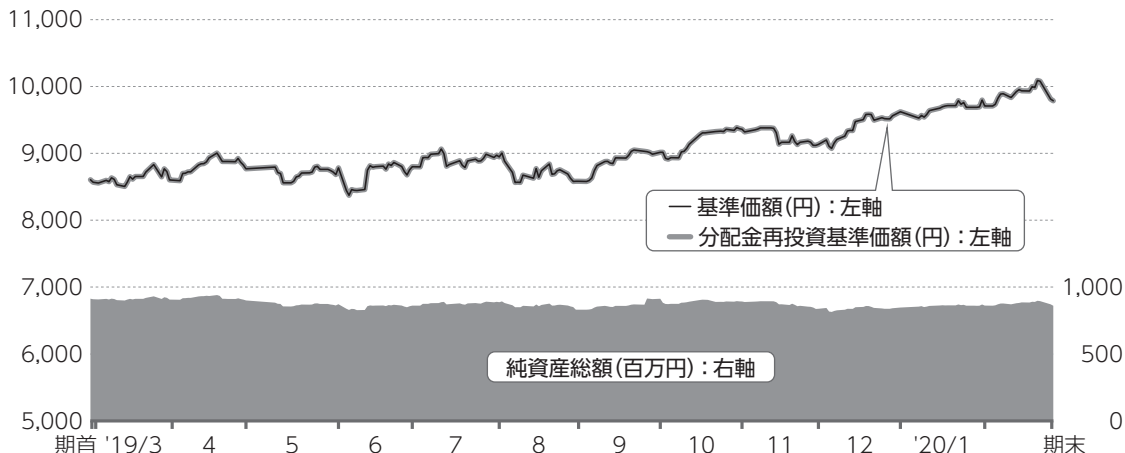
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について（2019年2月27日から2020年2月26日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	8,605円
期末	9,786円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	+13.7% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因（2019年2月27日から2020年2月26日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として、メキシコの債券等に投資しました。また、対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- 期を通じて、メキシコの国債利回りが低下（価格は上昇）したこと

下落要因

- 期を通してみれば、メキシコペソが円に対して小幅に下落したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	期末組入比率
メキシコ・ボンド・ファンド(アキュムレーションクラス)	外国債券	95.0%
マネー・オープン・マザーファンド	短期金融資産	0.6%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

1万口当たりの費用明細（2019年2月27日から2020年2月26日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	99円	1.100%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は8,989円です。
（投信会社）	(27)	(0.297)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(69)	(0.770)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(-)	(-)	
（先物・オプション）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.009	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	100	1.109	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

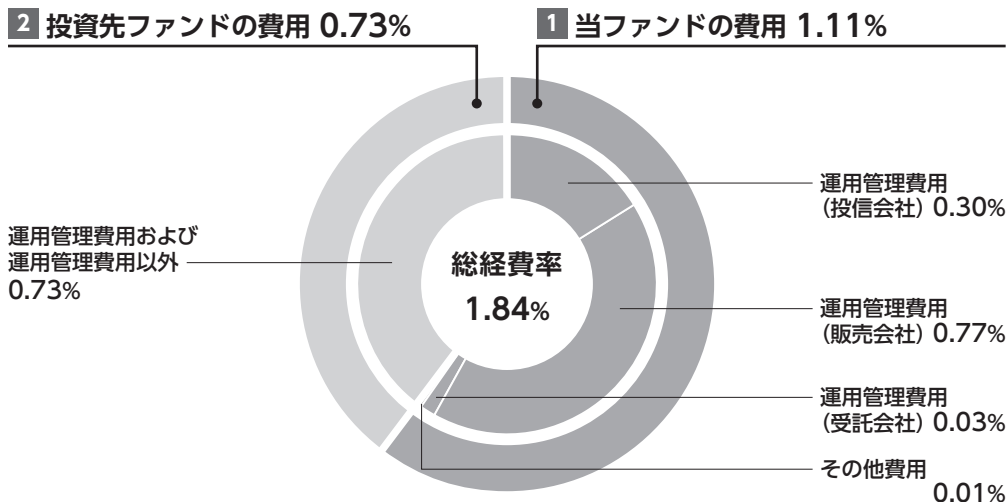
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1 + 2)

1.84%

1 当ファンドの費用の比率

1.11%

2 投資先ファンドの費用の比率

0.73%

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

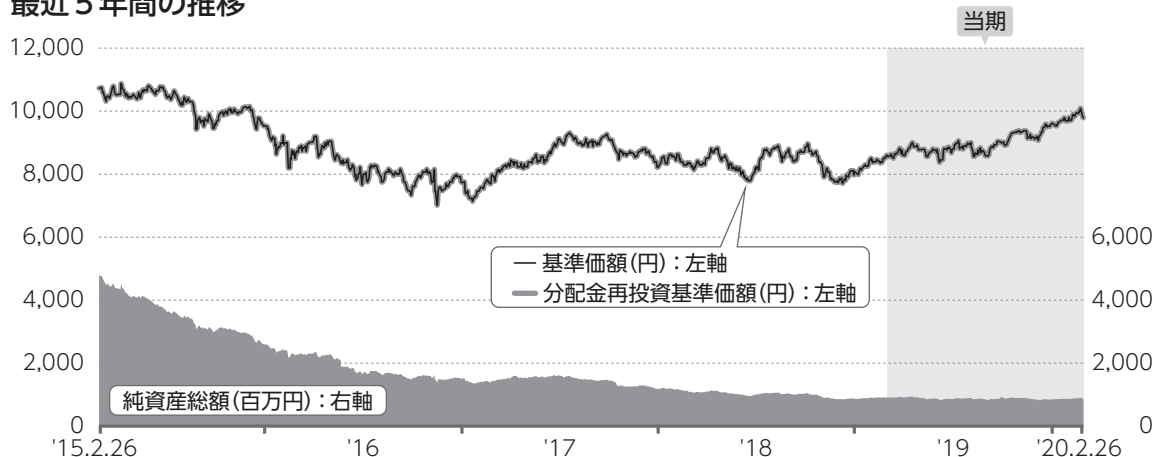
※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.84%です。

最近5年間の基準価額等の推移について（2015年2月26日から2020年2月26日まで）

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2015年2月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

最近5年間の年間騰落率

		2015.2.26 決算日	2016.2.26 決算日	2017.2.27 決算日	2018.2.26 決算日	2019.2.26 決算日	2020.2.26 決算日
基準価額	(円)	10,730	8,660	7,924	8,358	8,605	9,786
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	-19.3	-8.5	5.5	3.0	13.7
純資産総額	(百万円)	4,785	2,274	1,433	1,088	913	860

投資環境について（2019年2月27日から2020年2月26日まで）

当期のメキシコ債券市場は上昇しました。為替市場ではメキシコペソは対円で下落しました。

債券市場

メキシコ国債利回り（10年国債）は期を通じて低下基調で推移しました。

期首から8月にかけては、米中貿易摩擦の激化などを背景に、世界景気の先行き懸念が強まり、主要国の中央銀行がハト派（景気を重視する立場）的な姿勢を強め、利下げが期待される中、特に米国金利の大幅な低下を受け、メキシコ国債利回りも低下しました（米国では7月末に利下げが実施されました）。9月以降は、米中貿易摩擦が緩和して市場のリスク選好姿勢が強まったこと（12月には米中貿易協議の第一段階の合意が発表されました）や、メキシコで低迷している経済を下支えするために中央銀行が利下げを実施するとの期待が高まったことなどから、メキシコ国債利回りは低下しました。中央銀行は、2019年8月、9月、11月、12月、2020年2月と政策金利をそれぞれ0.25%ずつ引き下げ、2月の金融政策決定会合では7.00%としました。

高格付けの社債の信用スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は概ね横ばいで推移しま

した。

当期のJPモルガン・GBI-EMブロードメキシコインデックス（現地通貨ベース）は、期首に比べて18.5%上昇しました。

為替市場

当期のメキシコペソは対円で小幅に下落しました。

期初から8月にかけて、米中貿易摩擦が激化するとの懸念などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まり、メキシコペソは軟調に推移しました。5月末には、米政権が不法移民問題を理由にメキシコへの関税措置を発表し、メキシコペソが大きく調整する局面もありました。9月以降は、米中通商交渉が進展するとの期待から投資家のリスク選好姿勢が強まり、メキシコペソは上昇基調となりました。しかしながら2020年2月の下旬から期末にかけては新型コロナウイルスへの警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まり、メキシコペソは下落しました。当期のメキシコペソ・円は、期首5円80銭から期末5円77銭と0円03銭のメキシコペソ安・円高となりました。

ポートフォリオについて（2019年2月27日から2020年2月26日まで）

当ファンド

「メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）」を高位に組み入れることにより主としてメキシコの債券等に投資しました。また「マネー・オープン・マザーファンド」への投資を通じて安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）

期初は、長期的にはインフレ率が低位で落ち着くと考え、デュレーション（投資資金の平均回収期間）はやや長めとする運用を行いました。その後、期央にかけては米中貿易摩擦などの市場を大きく動かす要因があること

からデュレーションは短めとし、保守的な運用を行いました。期後半は米中の貿易摩擦が緩和され投資家のリスク選好姿勢が強まると考え、デュレーションはやや長めとする運用を行いました。

メキシコ国債中心の運用を行いましたが、財務状況が健全で利回り面での魅力も高いと判断した社債も組み入れ、国債は約6割、社債は約4割との組入比率で推移しました。

マネー・オープン・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2019年2月27日から2020年2月26日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2019年2月27日から2020年2月26日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第7期
当期分配金	—
（対基準価額比率）	（—％）
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	461

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

当期の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りと致しました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き「メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）」を高位に組み入れることにより、主としてメキシコの債券等に投資します。

メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）

12月には米中通商交渉について第一段階の合意がまとまり、投資家のリスクセンチメントが改善されたことからリスク性資産が上昇する展開となりました。FRB（米連邦準備制度理事会）をはじめとする世界の中央銀行は緩和的な金融政策を継続することが見込まれ、今後も世界的な低金利環境が続くと思

われます。このような環境下、相対的に高い利回りを求めてメキシコ債券市場には投資家の資金が流入することが期待されます。

一方で、今後、新型肺炎が世界経済に与える悪影響が顕在化してくることも考えられます。その点に注意を払いながら、市場環境に応じてデュレーションを調整していく方針です。

社債に関しては現状程度の組入れを維持します。

マネー・オープン・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

合併について

三井住友アセットマネジメント株式会社は、2019年4月1日に大和住銀投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三井住友DSアセットマネジメント株式会社に変更しました。

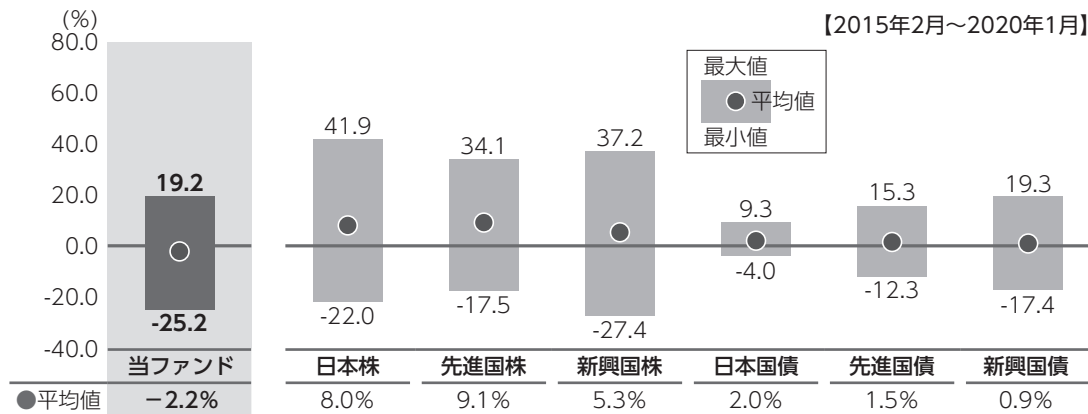
約款変更について

- 委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、所要の変更を行いました。
(適用日：2019年4月1日)

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2013年3月8日から2023年2月27日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてメキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>メキシコ・ボンド・ファンド(アキュムレーションクラス) メキシコの債券等</p> <p>マネー・オープン・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品</p>
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■主として、メキシコの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つアクシオネス・イ・パローレス・バナメックスが行います。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■年1回(原則として毎年2月26日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(配当込み) 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村證券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

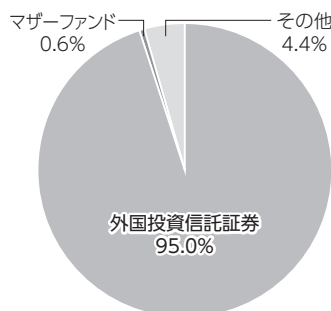
当ファンドの組入資産の内容 (2020年2月26日)

組入れファンド等

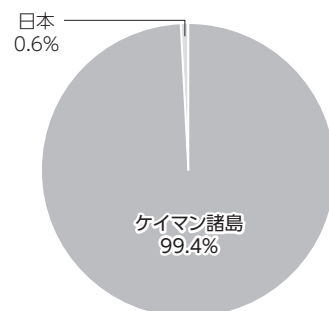
銘柄名	形態	組入比率
メキシコ・ボンド・ファンド(アキュムレーションクラス)	ケイマン籍外国投資信託(円建て)	95.0%
マネー・オープン・マザーファンド	親投資信託	0.6%
コールローン等、その他	-	4.4%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

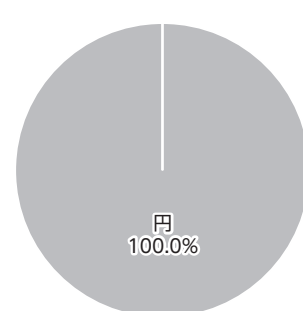
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第7期末
純資産総額 (円)	860,471,929
受益権総口数 (口)	879,318,794
1万口当たり基準価額 (円)	9,786

※当期における、追加設定元本額は93,676,521円、解約元本額は275,728,647円です。

組入上位ファンドの直近決算概要(当ファンドの計算期間とは異なります)

メキシコ・ボンド・ファンド(アキュムレーションクラス)
(2017年11月1日～2018年10月31日)

基準価額の推移以外は投資ファンドを含むシェアクラスで構成された「メキシコ・ボンド・ファンド」の情報です。

基準価額(円建て)の推移



※期中の分配金は含みません。

組入上位10銘柄

(2018年10月31日現在)

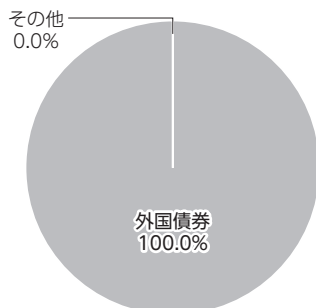
	銘柄名	債券種別	利率	償還日	組入比率
1	MEXICAN BONOS MBONO 7 1/2 06/03/27	国債	7.50%	2027/6/3	20.1%
2	ARCAMZ 5.88% 10MAR2023	社債	5.88%	2023/3/10	9.4%
3	BBVA BANCOMER SA BBVASM 7.83 08/24/20	社債	7.83%	2020/8/24	8.9%
4	MEXICAN BONOS MBONO 7 3/4 05/29/31	国債	7.75%	2031/5/29	7.2%
5	MEXICAN BONOS MBONO 7 3/4 11/13/42	国債	7.75%	2042/11/13	6.4%
6	SCOTIAB 13-2	社債	7.30%	2023/6/16	6.1%
7	MBONO 8.5% 18NOV2038	国債	8.50%	2038/11/18	6.0%
8	MBONO 10% 20NOV2036	国債	10.00%	2036/11/20	5.9%
9	MBONO 8.5% 31MAY2029	国債	8.50%	2029/5/31	4.5%
10	MEXICAN BONOS MBONO 7 3/4 11/23/34	国債	7.75%	2034/11/23	4.2%
	全銘柄数			19銘柄	

※比率はポートフォリオに対する割合です。

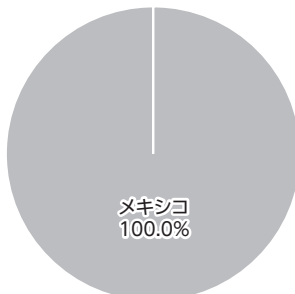
※シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドからのデータ提供を受けて三井住友DSアセットマネジメントが作成しています。

※全銘柄の情報については、運用報告書(全体版)に記載しています。

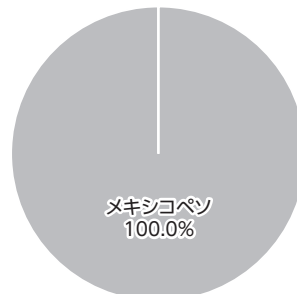
資産別配分（ポートフォリオ比）



国別配分（ポートフォリオ比）



通貨別配分（ポートフォリオ比）



※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。

※2018年10月31日現在

（ご参考）組入投資信託に係る費用明細

項目	比率
管理報酬	0.6%
監査報酬	0.1%
事務代行、名義書換代理人および保管報酬	0.1%
その他諸費用	0.1%
費用合計	0.8%

※比率は平均純資産総額（期首・期末）に対する費用の割合で、当社算出値

※単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。なお、費用の総額については、運用報告書（全体版）の「包括利益計算書」に記載しています。